

私たちが大学のライフライバーメイトです



図書の魅力発信を
目的として推薦図書の展示、
学園祭への参加などを行う
学生ボランティアです

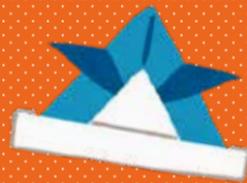


<レクリエーション>

地域と公共図書館を知ること、
メイト間の親睦を兼ね、
浜松城や浜松市立図書館などを訪れました。
グループに分かれて下調べをしたことで、
地域の文化や歴史の再発見ができました。
これをきっかけにメイト間の緊張がほぐれ、
学年関係なく交流でき、活動の
活性化につながられました。



<学園祭>



装飾や配置の工夫をして、
学園祭に来る子ども達や保護者の
「ホッと一息つける空間」を作り、
絵本の読み聞かせや紙芝居の上演、
折り紙を一緒に折る活動をしました。
子どもたちの嬉しそうな笑顔で、
とても心温まる気持ちになりました。

～お薦め図書紹介～



書名『デフレの正体』
著者 藻谷浩介 出版社 角川書店

地域共創学科
徳増幸雄先生

「いまのデフレは生産年齢人口の減」と喝破。
地方の魅力を語る続編『里山資本主義』と並んで見方
が変わる1冊。

書名『エスカレーター人間—新思考の道—』
著者 外山滋比古 出版社 芸術新聞社

多様な場面における我々の
もつ「思考」を説明した
本です。



地域共創学科
鄭玉姫先生

書名『地域調査ことはじめ』
著者 梶田真・二平尊明・加藤政洋
出版社 ナカニシヤ出版

地域調査のプロセスを事例
とともに詳細にまとめた
本です。



書名『ちいさい言語学者の冒険』
著者 広瀬友紀 出版社 岩波書店

子どもコミュニケーション学科
勘米良祐太先生

「これ食べたら死ぬ？」といった子どもの
「言い間違い」から、言語や子どもの言語習得に
ついて学べるよい本です。

書名『善の研究』
著者 西田幾多郎 出版社 岩波書店

この本は、「純粹経験」という言
葉で「主観と客観が分かれる前」
について捉え、人間存在について
考察しています。時間のある大学
生のうちに触れてみて欲しい本。



子どもコミュニケーション学科
井上遥先生

書名『ランチのアッコちゃん』
著者 柚木麻子 出版社 双葉社

「食べることは生きるこ
と」。派遣社員の主人公が上
司のアッコ部長とランチを
交換するところから物語は
始まります。読むと元気が
でる「ビタミン小説」!

子どもの反応が、
すごく素直！
楽しかったので、
またパネルシアター
をやるとき、頑
張ろうと思います。



クリスマス会を行いました！
日時：12月6日
場所：浜松学院大学附属幼稚園
日頃の練習の成果を存分に発揮
することができました。
～プログラム～
★パネルシアター
★手遊び
★絵本の読み聞かせ
『サンタさんからきたてがみ』
★歌の披露
『あわてんぼうの
サンタクロース』

「子どもたちに、どう呼びかけをしたらいいか」、みんなで考え
ました。思った以上に反応がよくて、楽しくできました。

笑ったり驚いたり
楽しんだりし
ている様子を間
近に見ることが
できてよかったです。



子どもたちの声が大
きくて、パネルの後
ろからでは声が届い
ているのか心配にな
るほどでした。

すごく緊張し
たけど、いい
経験になりま
した。



★お薦め絵本★

『へんしんトンネル』
作・絵／あきやま ただし
発行／金の星社 請求記号／E||Ak
コメント／言葉を繰り返すことで変
身するキャラクターが魅力的。子
どもと一緒に、その言葉を呪文のよ
うに唱えてくれます。
『そらまめくんのベッド』
作・絵／なかや みわ
発行／福音館書店 請求記号／E||Na
コメント／私自身寝る前に、読んで
もらい、グッスリ眠ることができ
ました。

『HGU Library News』 vol.15

発行日：2020年1月31日 発行者：浜松学院大学・浜松学院大学短期大学部 ライブラリーメイト

布橋図書館



★布橋図書館★

地域に役立つ本から
教育に役立つ本まで
幅広く所蔵しています。

～COME & SEE～



住吉図書館



★住吉図書館★

短期大学の幼児教育科学生の
学びを支えています。